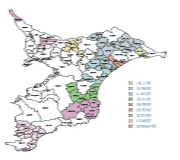


隊友千葉だより



千葉県隊友会事務局
事務所開所時間
月・水・金
10:00~15:00

会長 新年のご挨拶

明けましておめでとう
ございます。

千葉県隊友会会員の皆様、
特別会員の皆様、県内自衛
隊各部隊等の皆様、また関
係諸団体の皆様におかれま
しては、健やかな正月を迎
えられたこととお慶び申し
上げます。



会長 神原 誠司

昨年は、新型コロナ感染が波状的に蔓延する
中で、入国者制限の撤廃や全国旅行支援を通じ
て経済等活動が再稼働始めるなど、ようやく脱
出の兆しが見えました。また、MLBエンゼル
スの大谷翔平選手や将棋の藤井聡太5冠の活躍
トップアスリート活躍も国民に大きな感動と勇
気を与えた1年でもありました。

一方でロシアによるウクライナ侵略や中国の軍
事増強、北朝鮮の相次ぐミサイル発射など、民
族、宗教、国境等による混乱や紛争が絶えませ
ん。紛争は、宇宙、サイバー、電磁波などの領
域まで広がり、自衛隊を取り巻く環境は最悪の
状況です。

これら新領域における対応が急がれ、更なる
防衛力の強化が望まれるところです。

各種災害派遣や自衛隊大規模接種センター運営
は、大きな成果だと思えます。県内の各駐屯
地・基地においても、諸行事等が、少しずつで

はありますが、復活しつつあり、自治体との
連携や住民との交流もようやく始まったよう
です。

これら、困難な環境下での自衛隊の各種活
動については、OBとして大変心強く、誇り
に思っています。

千葉県隊友会の活動に目を転じますと、喫緊
の課題は「新規の会員募集」、いわゆる会勢
拡大にあります。コロナの影響や自衛官の定
年延長などの影響でここ2、3年新会員は激
減の状況です。今年は、千葉地本、各部隊と
の連携を図りつつ、退職・退官をされる現役
の皆さんに隊友会の活動のご理解をいただけ
るよう努力をしていきたいと思えます。

最後に、新型コロナ感染は、再び増加傾向
にあり、予断を許さない状況だと思えます。

このような環境の中においても、『隊友会は、
防衛省・自衛隊の活動をサポートし、県民と
自衛隊の懸け橋』になれるよう、細心の注意
を払いながら、一意専心努力していきたいと
思っています。

改めて皆様のご活躍を祈念し、新年のご挨拶
と致します。



令和5年元旦

在葉部隊指揮官 ご挨拶

新年 明けましておめで
とうございます。

千葉県隊友会の皆様に
は、平素より海上自衛隊
教育航空集団、特に下総
教育航空群の活動に対し
て、深いご理解と多大な
ご支援を賜っており、
心より感謝申し上げます。



海上自衛隊
教育航空集団
司令官

海将 大町 克士

さて、昨年は、ロシア
によるウクライナ侵略に
始まり、中国では新たな習近平指導体制が発
足、北朝鮮による度重なるミサイル発射、米
国中間選挙における上院・下院のねじれなど、
国際情勢は混乱の度合いを増しており、我が
国を取り巻く安全保障環境は、冷戦後、最も
厳しいと言っても過言ではありません。

こうした中で、昨年末には、いわゆる戦略三
文書の改訂が行われました。海上自衛隊とし
ては、創設以来掲げてきた「精強・即応」の
真価が今ほど問われている時代はありません。
また、その期待は、今後一層高まるものと思
われます。

教育航空集団は、今年もまた、将来にわたつ
て海上防衛の一翼を担う「精強な搭乗員の育
成」に努めて参ります。ここでいう精強な搭
乗員とは、高い飛行技能はもとより、強靱な
精神力、そして、どのような環境下にあつて
も上位指揮官の目標を達成するために、自ら
考え行動できる思考力と実行力をもって任務
を達成し、帰還できる搭乗員のことです。

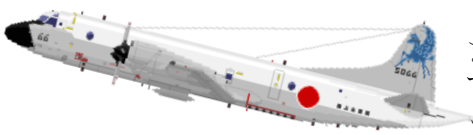
この春に入隊する航空学生が、ウイングマークを胸にする約4年後の安全保障環境は、今よりも厳しいかもしれません。

我々は、こうした意識も持ちつつ、教育のさらなる充実に努力して参ります。

一方で、教える側も変化の適合が求められます。コロナ禍における高校や大学の教育環境は、以前とは大きく異なっています。また、文部科学省の学習指導要領が改訂されたことにより、今後、自衛隊の採用者の素養にも変化が生じる可能性があります。加えて、将来の航空機や装備品は、先端技術の導入によってますます高度化、複雑化が予想され、AIとの共存も視野に入れる必要があるでしょう。我々は、今後の学生に求められる知識、技能をよく見極め、より効果的かつ効果的な教育体系や手法を考えて参りたいと思います。

千葉県隊友会の皆様には、引き続き、教育航空集団の教育へのご理解と防衛意識の普及・高揚、防衛・防災施策、千葉県所在の自衛隊の諸業務に対するご支援、ご協力のほどを、よろしくお願い申し上げます。

また、本年が、皆様にとつて素晴らしい一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。



祝 秋の叙勲受章者

叙勲受賞 誠におめでとうございます。

長年に亙る多大なご功績に敬意を表します。

【瑞宝中綬章】

安達 孝明

(元技術研究本部開発官 山武東金支部)

【瑞宝小綬章】

渡邊 正和

(空自2術校副校長 船橋支部)

【瑞宝双光章】

安倍 公明

(陸自特別輸送飛行隊長 木更津支部)

鈴木 眞廣

(海自203教育航空副隊長 白井支部)

第39回危険業務従事者受章者

黒田 幸男

(海自第211教育航空隊 館山支部)

佐藤 全彦

(海自下総航空基地隊 柏支部)

永野 泰洋

(陸自需品学校 松戸支部)

長矢 幸和

(陸自関東補給処古河支処 市川支部)

堀川 久人

(陸自関東補給処 鎌ヶ谷支部)

森 浩

(陸自高射学校 四街道支部)

加藤岡 英雄

(陸自空挺教育隊 山武東金支部)

原田 忠義

(陸自習志野業務隊 花見川支部)

宮嶋 輝明

(陸自高射教導隊 船橋支部)

事務局からお知らせ

謹賀新年

平素から事務局の活動にご支援ご協力を賜わり感謝申し上げます。本年も引続き宜しくお願ひ申し上げます。

今年のも主要行事をお知らせします。

①部隊研修

5年2月27日(月) 13時～15時半

木更津駐屯地第1ヘリ団

②理事役会及び後期支部長会議

5年3月11日(土) 13時～17時

千葉市民会館

③令和5年度通常総会

5年4月19日(水) 13時～19時

三井ガーデンホテル千葉

細部は、支部長を通じてご連絡いたします。隊友紙配布に「会費納入及び協力金のお願ひ」を同封いたします。協力金については、ご寄付ではありませんが、会運営において必要不可欠な状況でありますことをご理解いただき、多くの会員のご協力をお願い致します。

年の初めにあ

たり、会員各位

のご健勝とご活

躍を祈念申し上

げます。

事務局長

大根正雄

事務局

名簿担当

門脇理事役

会計担当

高瀬孝代

【千葉県隊友会事務局】

〒260-0042

千葉市中央区椿森1丁目26-9

コンラッドビル4階

電話：043-306-2095

FAX：043-306-2096

Eメール

chibataiyuu@engel.ocn.ne.jp

ホームページ

http://www.chibataiyuu.com/

令和5年度防衛予算案

令和5～9年度の5年間の中期防衛力整備計画における防衛省の総額を約43兆円とする様、岸田総理大臣の指示がありました。これは現中期防の総額約27兆4700億円の約1.57倍の増額となります。

それでは、令和5年度の予算は、どのようになっているでしょうか。防衛省は、令和5年度予算を「防衛力抜本的強化の元年予算」として公表しました。

令和5年度予算案の防衛費は過去最大の6兆8219億円で令和4年度の当初予算と比べて1兆4000億円余り多く、およそ1.3倍と大幅な増額となりました。

防衛省が防衛力を抜本的に強化するため、重視する7つの分野ごと、記載します。

① スタンド・オフ防衛能力

「反撃能力」を行使するために敵の射程圏外から攻撃できる「スタンド・オフ・ミサイル」を早期に整備するとしています。アメリカの巡航ミサイル「トマホーク」の取得に2113億円を計上、令和8年からイージス艦に配備する方針で、射程はおおよそ1600キロとされています。また、令和8年度から配備予定の「12式地对艦誘導弾」の改良開発・量産に1277億円、「島しょ防衛用高速滑空弾」の研究・量産に505億円を計上、音速の5倍以上の速さで飛行する「極超音速誘導弾」の研究に585億円、戦闘機に搭載するノルウェー製の「JSM」取得に347億円、アメリカ製の「JASSM」取得に127億円を計上。

② 統合防空ミサイル防衛能力 極超音速滑空兵器にも対応できる 「イージス・システム搭載艦」に2208億円を計上。

無人アセット防衛能力
ミサイルを積めるドローンや自爆型のドローンの取得に99億円を計上。

④ 領域横断作戦能力

宇宙領域ではかの国の衛星の動向などを把握する「SDA衛星」を製造するため595億円を計上し、令和8年度に1号機を打ち上げ予定。また、極超音速滑空兵器を宇宙から探知・追尾する技術の実証に46億円、サイバー領域では人材育成のため陸上自衛隊の通信学校を改編する費用として2億円を計上、電磁波領域では、「F35」の取得に2504億円を計上。

⑤ 指揮統制・情報関連機能

ロシアのウクライナ侵攻で見られたような「情報戦」にも対応できる情報収集や分析の体制を強化するほか、AIで意思決定を支援する研究に43億円を計上。

⑥ 機動展開能力・国民保護

南西地域で部隊を迅速に展開するため、陸上自衛隊の物資の保管施設を新たに沖縄県に設けるため、2億円を計上

⑦ 持続性・強じん性

部品不足を解消するため装備品の維持整備費に2兆355億円、弾薬の取得に8283億円を計上、「反撃能力」に使われる「スタンド・オフ・ミサイル」などの弾薬の確保に必要な企業の製造ラインの強化に1618億円、火薬庫の確保に58億円を計上。

老朽化した自衛隊の施設の建て替えや強化のため、868億円を計上

このほかの分野では、防衛産業がサイバーセキュリティの強化などを行う際の費用を支援する事業に363億円、防衛装備品の海外移転を支援する基金をつくる費用に400億円を計上。着々と防衛力が整備されていくと同時に、法整備も必要と思われれます。 伏見昭彦 (出典元：NHK Webニュース参考)

◆美浜支部◆

千葉市美浜区は、1992年(平成4年)4月、千葉市の政令指定都市移行に伴い、6区のうちのひとつとして誕生し、迎えました。

美浜区は、千葉港以北の東京湾沿岸に埋め立てによって誕生した地区です。現在のJR「海浜幕張駅」から「千葉みなと駅」に至る市街地一帯は海辺で、海岸線は国道14号線付近でした。「幕張の浜」、「検見川の浜」、「稲毛の浜」の三つの浜は、「磯の松原」と呼ばれた見事な松林の景観で「日本の白砂青松100選」にも選ばれたほどでした。遠浅の海岸は、潮干狩りや海水浴、そして貝や海苔の養殖が盛んにおこなわれていました。昭和の高度経済成長期の都市人口急増に対応するため、千葉市が近郊整備地域に指定(1966年)され、「海浜ニュータウン基本構想」により埋め立て造成工事が始まりました。



国道14号線から海側に約2Km、幕張から稲毛に約6Km、市域面積の約8分の1に相当する土地が生まれました。埋め立てた所に街が計画的に造られていきました。幕張地区では、幕張メッセを核に、千葉ロッテマリーンズの本拠地マリンスタージアム、大型量販店、文教施設、住宅がバランスよく配されています。人工の浜では、花火大会、飛行機レースにも活用され、2020年にはJFAナショナルフットボールセンターが開所され、日本代表のキャンプ拠点にもなっています。

千葉美浜支部会員は、昭和50年代から昭和60年代に千葉海浜ニュータウンへ移り住んだ方々が大半です。支部の近傍に駐屯地や基地がないという地域特性から、支部の区内に新たに住み会員になる方がほとんどいないこともあり、会員数は自然と減少し、年齢構成は高齢化しています。支部発足から10年後の2002年では、会員数は141名で、年齢構成は65歳〜70歳を中心として、60歳〜75歳までの会員が約80%を占めていました。しかしながら、支部発足から30年後の今年度では、会員数は70名で、85歳〜90歳を中心として80歳以上の会員が約70%を占める状況となっています。

支部の活動は、県本部の計画する県護国神社の清掃や県殉職隊員慰霊祭に参加する等の他、年1回支部総会を計画しています。

美浜支部長

首藤敏明



千葉県隊友会美浜支部総会

◆ 四街道支部 ◆

コロナ8波とインフルエンザのダブルパンチの最近ですが、千葉県隊友会の皆様新年をご多幸でお迎えの事と存じます。四街道支部は約180名の正会員と15名程の特別会員です。近隣の支部、四街道の協力会・家族会と連携し、活動していますが会員減少と高齢化の波は大きいものがあります。下志津駐屯地との密接な縁があるのが支部の大きな特色ですが、活動状況を紹介させていただきます。

例年正月に実施している四街道支部総会は支部の最大の事業です。

実施内容は総会、防衛講話、懇親会が定番です。参加者は支部会員が約50名、特別会員約10名、来賓が約30名です。来賓には、四街道市長、市議会議長、関連の国会議員と県議、協力会と家族会、自衛隊からは高射学校長と千葉地本長、隊友会からは千葉県隊友会会長を始め近隣支部長等のご臨席を頂いております。防衛講話は、勉強の場として広く講師を求め実施をお願いしています。令和4年は、住田前陸上総隊司令官に陸上防衛主体のお話を聞くことが出来ました。

今回1月の支部総会は、コロナ状況を注視しつつ、例年の総会内容を追求してはいますが、一昨年は中止、昨年は5月に延期した教訓を生かし何とか実施したいと計画しています。

支部は、隊友新聞を11名の理事で毎月手配りを実施しています。これに合はせ、支部ニュースを毎月発刊し隊友と合わせ手配りを実施し、会員の一体感を図っています。支部ニュースは会員に直接関係のある身近な事項の連絡、健康に関する事項等をA4版一枚ですが長期に亘って継続しています。

ここで、隊友政治連盟四街道支部の活動も紹介させて頂きます。自衛隊OBの参議院議員選挙応援は、県の計画の下に、若葉支部、稲毛支部と協同の活動を実施してありますが、成果は不満足な状況です。また、有志が「四街道市憲法改正推進市民の会」の柱となり、5年を越える活動を継続し、昨年十二月には十七回目の勉強会を実施しました。

今後は、憲法改正国民投票に備え、一般市民に活動の輪を拡大する必要が有ります。皆様の御協力を宜しくお願い致します。更に、有志が将来を託せる若手の県会議員を応援しています。これは、憲法改正のみならず、日本の安全保障、教育等日本の将来を期待しての活動です。

この様に、多くの皆様の御協力を得て活動していますが、隊友会の目的追求は勿論ですが、支部会員の終活を含めて人生を意義あるものと願って今後も活動して参りますので、今後共宜しくご指導とご協力をお願い申し上げます。

四街道支部長
中尾英夫



講師の北原元東チモール大使



講師の田母神元空幕長

千葉だより69号
編集担当 伏見理事役